

令和元年 7 月 30 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 社会

代表者 呉市立広南小学校

氏名 福間 武志

呉市教科用図書調査・研究報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①単元の目標の示し方
方 法	○1時間ごとの目標の記載の仕方及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(第3学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の前半で、話し合ったことをもとに学習問題を設定している。 <ul style="list-style-type: none"> ・火事が起きたときや火事をふせぐために、だれが、どのようなはたらきをしているのでしょうか。 ○ 見開きページの左端に、学習の進め方として「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習段階を構造的に示し、本時のめあてを提示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べる：119番に電話をかけると、どこにつながり、どこへれんらくが行くのでしょうか。 ○ 本時のめあてを端的に表現した見出しを示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・通信指令室とさまざまな人々のはたらき ○ 見開きページの端に、見方・考え方をドラえもんが問いかけている。(全33ページ) <ul style="list-style-type: none"> ・火事が起きたとき、どのような人々が協力し合っているのかな。
教出	<p>(第3学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の前半で、話し合ったことをもとに学習問題を設定している。 <ul style="list-style-type: none"> ・消防しょは、どのようにして火事からまちを守っているのだろう。 ○ 見開きページの左端に、「この時間の問い」と題して本時の目標を提示している。単元の最後には「まとめる」という学習過程を示して、本時の目標を提示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・119番の電話は、どのようなしくみになっているのだろう。 ○ 本時のめあてを端的に表現した見出しを示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・消防しょとさまざまな人々のはたらき ○ 見開き頁の右端に、「次につなげよう」と題して次時につながる問題を4人のナビゲーター(小学生)が問いかけている。 <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなところがかわりあって、まちを守るんだね。消防しょでは、ふだん、どんなことをしているのかな。
日文	<p>(第3学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の前半で、学習問題を設定している。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の安全を守るため、消ぼうしょやけいさつしょ、地域の人びとは、どのような仕事や取り組みをしているのだろう。 ○ 見開きページの左端に、4人のナビゲーター(小学生)が単元ごとに入れ替わって本時の目標を問いかけている。 <ul style="list-style-type: none"> ・消ぼうしょでは、火事がおきたら、どのような活動をするのだろう。 ○ 本時のめあてを端的に表現した見出しを示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・119番のしくみを調べよう ○ 見開きページの方端に、見方・考え方を提示しているページがある。(全14ページ) <ul style="list-style-type: none"> ・通信指令室は、どこへ火事のれんらくをして、どんなことをつたえているのだろう。①や94ページの絵を見て考えてみよう。

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能及び我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	○地図帳の使い方の例（第3学年）

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地図帳を使おう」において、「地図帳を使うと、自分たちが住んでいる市や県についてくわしく知ることができます。」と示し、位置や様子等が地図帳で調べられることを提示している。 ○ 「市の様子」の単元において、「まなびのポイント」として「地図帳で、市の形や位置をかくにんしてみよう。」と学習活動を提示し、「地図帳で調べると、福岡市は、福岡県の中で西がわにあり、たくさんの市や町ととなりあっています。」「市の形を紙にかいてたしかめ、白地図をつくりました。」と本文中に示している。また、「まなび方コーナー」を設け、「さくいんを読み取る」として「地図帳で福岡市の位置を調べる」手順を示している。 ○ 「店ではたらく人」の単元において、品物の産地を調べる資料として、「ねふだやパッケージに、つくられたところの地名が書いてあったよ。地図帳で見たら、どこにあるのかわかるかな。」「品物の産地やその国の国旗を、地図帳でたしかめよう。」等、調べた産地をまとめた図を示して地図帳の活用について示している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「店ではたらく人と仕事」の単元において、商品の仕入れを調べる資料として、「店がどこから商品を仕入れているのか、地図帳を使って調べました。次に、それらの産地を白地図にまとめました。」と、本文と産地をまとめた白地図を示して地図帳の活用について示している。 ○ 「じょうほうを読み取る 地図帳を使って調べよう」において、本文に「地図帳には、さまざまな地いきの地図がのっています。知らない地名が出てきたら、まず地図帳を開いて、その場所を、たしかめるようにしましょう。」と示している。例として大阪府を取り上げ、「自然の山や川、鉄道や道路など、知りたいことを決めて地図を見るといいよ。」「色によって土地の高さを分けているよ。うすい色の場所はひくい土地で、こい色の場所は高い土地だよ。」と、地図帳の活用目的及び土地の高低についての地図の見方を示している。また、「さくいんの使い方」の手順を示している。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちの住んでいる市のようす」の単元において、地図記号について、「地図帳には、どんな地図記号が使われているのかな。かくにんしてみよう。」と、地図帳の活用を示している。 ○ 単元「店ではたらく人びとの仕事」の「品物の産地を調べよう」において、品物の産地を調べる資料として、「地図帳で産地の場所を調べて、白地図にかきこんでいこう。」と吹き出しで示すとともに、本文で「調べた産地を白地図にかきこんで産地マップをつくりました。」と、調べたことをまとめた産地マップも示して地図帳の活用を示している。 ○ 「学び方・調べ方コーナー 見る・調べる」において、見開きで「地図帳の使い方」を示している。「地図帳のさくいんの使い方」では、自分の住んでいる市をさくいんを使って調べる手順について、「地図帳の地図の見方」では、姫路市を例にページや記号、色分け等地図帳の表記の特徴について示している。

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能及び我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	○47 都道府県の学び方の例 (第4 学年)

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知っている都道府県を地図帳でたしかめよう」で、9つの都道府県の祭りや観光地について写真で例示し、8つの道県の特産物についてイラストで例示している。 ○ 日本地図を広げて」で、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。 ○ 「都道府県の特産品」で、各都道府県の特産品を地図中に絵で例示している。 ○ 「空から日本を見てみると」で、各都道府県の海、山、川、湖等の地形を示している。 ○ 「都道府県の特産品」「空から日本を見てみると」で、各都道府県の形、特産品、特徴、県庁所在地などをカードにし、都道府県名を記入できるようにしている。 ○ 「この教科書に出てきた主な都道府県」で、関係都道府県を地図上に示している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みりよくがいっぱい！知りたいな、47 都道府県」で、特産物、祭り、観光地について17の道府県を写真で例示している。 ○ 「日本の都道府県の区分」で、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。 ○ 「47 都道府県のクイズ大会を開こう！」で、クイズを作ることを促し、広島県について、文章で特色を例示している。 ○ 「この教科書に出てくる主な都道府県」で、関係都道府県を地図上に示している。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の都道府県」で、各都道府県の名称と位置を示している。また、自分たちの住んでいる都道府県を問い、まわりの都道府県をたずねている。家族といっしょに訪れた都道府県をたずねている。 ○ 「教科書に出てきたおもな地名」で、取り上げた県・市・町を地図上に示している。 ○ 都道府県の特徴を調べる視点となる写真を掲示している。

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能及び我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	○日本の位置と領土についての扱い（第5学年）

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図…日本の国土の位置，領土・領海の範囲，竹島，尖閣諸島，北方領土 ○ 写真…与那国島，沖ノ鳥島，択捉島，南鳥島，竹島，尖閣諸島，歯舞群島，西之島 ○ 北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の北東に続く歯舞群島，色丹島，国後島，択捉島は，日本固有の領土です。ところが，80年ほど前におきた太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦が占領し，その後もソビエト連邦をひきついだロシア連邦が不法に占領しています。日本政府は，これらの島を返すように求めて，交しょうを続けています。 ○竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・日本海上にある竹島は，日本固有の領土ですが，韓国が不法に占領しているため，日本は抗議を続けています。 ○尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・東シナ海にある尖閣諸島は，日本が有効に支配する固有の領土です。中国がその領有を主張していますが，領土問題は存在しません。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図…日本の国土の位置，領土・領海の範囲，竹島，尖閣諸島 ○ 写真…北方領土，竹島，尖閣諸島 ①北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・択捉島もふくめ，国後島，色丹島，歯舞群島の，北海道の北東に連なる島々は，北方領土とよばれる日本の領土です。しかし，1945（昭和20）年，太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦（今のロシア連邦）が不法に占領し，そこに住んでいた日本人は強制的に退去させられ，今にいたっています。日本は，北方領土の一日も早い返還をロシア連邦に求め続けています。 ②竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・島根県の竹島では，韓国が自国の領土であると主張し，不法な占拠を続けています。 ③尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県の尖閣諸島については，領土問題はないというのが日本の立場ですが，中国も自国の領土であると主張しています。 ○（①～③に続き）日本は，これらの島々が日本の領土であることを相手国や国際社会にしっかり伝え，課題の平和的な解決に向けて，ねばり強く努力を続けていく必要があります。 ○ 「日本固有の領土，竹島と尖閣諸島」のトピックを1ページ設けている。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図…日本の国土の位置，領土・領海の範囲，竹島，尖閣諸島，北方領土 ○ 写真…与那国島，沖ノ鳥島，択捉島，南鳥島，竹島，尖閣諸島 ○ 北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・75年ほど前，第二次世界大戦ののち，ソビエト連邦は，択捉島や，その近くにある国後島，色丹島，歯舞群島を占領しました。これらの島々は，北方領土とよば

日文	<p>れ、現在、ソビエト連邦を引きついでロシアが不法に占拠しています。北方領土は日本固有の領土であるため、日本政府は、これらの島々を返すように、ロシアにはたつきかけ、話し合いを続けています。日本の人々は、これらの島々が1日も早く返ってくることを願っています。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 竹島の記述<ul style="list-style-type: none">・日本海にある竹島は、日本固有の領土ですが、現在、韓国が不法に占拠しているため、韓国にくり返し抗議しています。○ 尖閣諸島の記述<ul style="list-style-type: none">・東シナ海にある尖閣諸島は、日本固有の領土で、その領有については、問題がないにも関わらず、中国が自国の領土であると主張しています。
----	---

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能及び我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	○世界の主な大陸と海洋の例及び世界の主な国の例（第5学年）

発行者	調査・研究内容
東書	<p>「わたしたちの国土」に記載されているもの</p> <p>【世界の主な大陸と海洋の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 <p>【世界の主な国の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 フランス, ドイツ, ロシア, 中華人民共和国, 大韓民国, アメリカ合衆国, カナダ, ブラジル, アルゼンチン, ニュージーランド, オーストラリア, インド, サウジアラビア, トルコ, 南アフリカ共和国, エジプト, イギリス ○ まわりの国々 大韓民国 (韓国), 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 中華人民共和国 (中国), ロシア連邦, モンゴル, フィリピン
教出	<p>「日本の国土とわたしたちの暮らし」に記載されているもの</p> <p>【世界の主な大陸と海洋の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 <p>【世界の主な国の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 イギリス, フランス, ドイツ, ロシア連邦, 中華人民共和国 (中国), タイ, インド, インドネシア, サウジアラビア, エジプト, ガーナ, 南アフリカ共和国, オーストラリア, ニュージーランド, カナダ, アメリカ合衆国, メキシコ, ペルー, ブラジル, アルゼンチン ○ まわりの国々 ロシア連邦, モンゴル国, 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 大韓民国 (韓国), 中華人民共和国 (中国), フィリピン共和国
日文	<p>「日本の国土と人々の暮らし」に記載されているもの</p> <p>【世界の主な大陸と海洋の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 <p>【世界の主な国の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 フランス, ドイツ, イタリア, エジプト, 南アフリカ共和国, サウジアラビア, インド, ベトナム社会主義共和国, 中華人民共和国 (中国), 大韓民国 (韓国), フィリピン共和国, ロシア連邦 (ロシア), オーストラリア, カナダ, アメリカ合衆国

日文	(アメリカ), チリ, ブラジル ○ まわりの国々 ロシア, モンゴル, 中華人民共和国 (中国), 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 韓国, フィリピン共和国
----	---

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能及び我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	○世界文化遺産の扱い及び国の形成に関する考え方（第6学年）

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【世界文化遺産の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。 ○ 「日本の世界文化遺産」で世界文化遺産を写真入りで紹介している。 ○ 巻末の年表の中で世界文化遺産を写真で紹介している。 <p>【画像で掲載されている世界文化遺産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法隆寺地域の仏教建造物（法隆寺）、古都京都の文化財（金閣、銀閣、東求堂、竜安寺の石庭）、姫路城、石見銀山遺跡とその文化的景観（石見銀山）、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群、明治日本の産業革命遺産（端島炭鉱跡、官営八幡製鉄所）琉球王国のグスク及び関連遺産群（首里城）、巖島神社、原爆ドーム、紀伊山地の霊場と参詣道（熊野古道）、古都奈良の文化財（正倉院、唐招提寺）、富士山・信仰の対象と芸術の源泉 -、ル・コルビュジエの建築作品 - 近代建築運動への顕著な貢献 -（国立西洋美術館）、富岡製糸場と絹産業遺産群（官営富岡製糸場）、日光の社寺（日光東照宮の陽明門）、平泉 - 仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群 -（中尊寺金色堂、毛越寺の庭園）、白川郷・五箇山の合掌造り集落 <p>【国の形成に関する考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取り上げられている資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 神話の中のヤマトタケル ○ 資料の記述内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ ヤマトタケルノミコトは、武勇にすぐれた皇子でした。ヤマトタケルは、天皇の命令を受けて、九州へ行って、クマソを平らげ、休む間もなく、東日本のエミシをたおしました。ヤマトタケルは、広い野原で焼きうちにあったり、あれる海とたたかたりして、苦勞をしながら征服を進めました。ところが、都に帰る途中、病気でなくなっていました。すると、ヤマトタケルのたましいは、大きな白鳥に生まれ変わって、都の方へ飛んでいきました。
教出	<p>【世界文化遺産の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びのてびき」で世界遺産のマークを紹介している。 ○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。 ○ 年表の中で世界文化遺産を写真で紹介している。 ○ 「日本列島 歴史の旅に出かけよう」のイラストの中で世界文化遺産を紹介している。 <p>【画像で掲載されている世界文化遺産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法隆寺、東大寺の大仏、唐招提寺、正倉院、巖島神社、中尊寺金色堂、金閣、銀閣、東求堂、龍安寺の石庭、石見銀山、日光東照宮、富岡製糸場、八幡製鉄所、原爆ドーム <p>【国の形成に関する考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取り上げている資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ ヤマトタケルの話

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料の記述内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトタケルは、天皇である父の命令で九州のおもむき、クマソをうちとりました。次の関東のエミシを従えるように命じられました。ヤマトタケルは、その途中で、広い野原で焼きうちにあたり、荒れる海とたたかったりするような困難にあいながらも、関東を征服しました。しかし、その帰り道に、病気でなくなっていました。ヤマトタケルは、大きな白い鳥になって、大和のほうへ飛んでいったということです。
<p>日文</p>	<p>【世界文化遺産の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「教科書の中のいろいろなコーナー」で世界遺産のマークを紹介している。 ○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。 <p>【画像で掲載されている世界文化遺産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法隆寺，東大寺の大仏殿・大仏，正倉院，平等院鳳凰堂，熊野本宮大社，厳島神社，金閣，銀閣，東求堂，龍安寺の石庭，日光東照宮，首里城，富岡製糸場，八幡製鉄所，原爆ドーム <p>【国の形成に関する考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取り上げている資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトタケルノミコト ○ 資料の記述内容 <ul style="list-style-type: none"> ・昔，ヤマトタケルノミコトという武勇のすぐれた皇子がいました。皇子は，朝廷に従わない豪族を討てという天皇の命令を受けました。皇子は，苦勞をしながら各地の豪族をたおしていきました。しかし，都に帰るとちゅうで病気になり，都がある大和の美しい景色を思いうかべながら，短い一生を終えたということです。

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能及び我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	○歴史上の人物の扱い及び事例（第6学年）

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【歴史上の人物の扱い〈てびきの表記〉及び内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に例示されている42名の人物すべて扱っている。 ○ 上記42名以外で扱っている人物。(写真や肖像画で記載している人物) <ul style="list-style-type: none"> ・ 棚田嘉十郎, 北条政子, 竹崎季長, シャクシャイン, 前野良沢, 大塩平八郎, 坂本竜馬, 津田梅子, 与謝野晶子, 夏目漱石, 樋口一葉, 新渡戸稲造, 田中正造, 平塚らいてう, 市川房枝, 山田少年, 高木兼寛, ナイチンゲール, 昭和天皇, 大隅良典 <p>【事例】(歴史編123ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 囲み資料 ○ 肖像 ○ 世界で活やくした野口英世 (文章) <p>野口英世は、15才のときに、やけどのために不自由だった左手の手術をしたのをきっかけに医師になる決意をしました。医師の試験に合格した野口は、やがて北里柴三郎の伝染病研究所に入り、ねる間もおしんで細菌学の研究にはげみました。</p> <p>1900年、アメリカにわたった野口は、へび毒の研究で注目され、彼の研究は、広く世界に認められるようになりました。</p> <p>それから、野口は、南米のエクアドルやアフリカのガーナに行き、原因不明の黄熱病を調査研究しましたが、1928(昭和3)年、ガーナで黄熱病に感染し、なくなりました。</p>
教出	<p>【歴史上の人物の扱い〈てびきの表記〉及び内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に例示されている42名の人物すべて扱っている。 ○ 上記42名以外で扱っている人物。(写真や肖像画で記載している人物) <ul style="list-style-type: none"> ・ 北条政子, 竹崎季長, 伊藤マンショ, シャクシャイン, 松尾芭蕉, 大塩平八郎, 徳川吉宗, 坂本龍馬, 青木昆陽, 山口尚芳, 岩倉具視, 津田梅子, 渋沢栄一, 楠瀬喜多, 与謝野晶子, 田中正造, 北里柴三郎, 志賀潔, 新渡戸稲造, 山田孝野次郎, 平塚らいてう, 後藤新平, 石川倉次, 南方熊楠, 杉原千畝, オバマ大統領, 湯川秀樹, 山中伸弥 <p>【事例】(193ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 囲み資料 ○ 肖像 (生没年), 写真 (野口記念医学研究所の研究の様子) ○ 医学の発展に力をつくした野口英世 (文章) <p>福島県に生まれた野口英世は、北里柴三郎の研究所に勤めたあと、24才のときにアメリカにわたり、へびの毒の研究などで世界的に注目されました。</p> <p>アメリカ医学研究所の所員として南米やアフリカをおとずれ、黄熱という原因不明の感染症の調査・研究に取り組みましたが、ガーナで黄熱に感染し、なくなりました。</p> <p>ガーナには、1979(昭和54)年、感染症を研究する施設が、日本の協力によって</p>

教出	つくられました。この施設には、野口にちなんだ「野口記念医学研究所」という名前がつけられました。
日文	<p>【歴史上の人物の扱い（てびきの表記）及び内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に例示されている 42 名の人物すべて扱っている。 ○ 上記 42 名以外で扱っている人物。（写真や肖像画で記載している人物） <ul style="list-style-type: none"> ・阿倍仲麻呂，菅原道真，北条政子，竹崎季長，シャクシャイン，雨森芳洲，前野良沢，大塩平八郎，岩倉具視，坂本龍馬，徳川慶喜，山口尚芳，与謝野晶子，田中正造，北里柴三郎，津田梅子，平塚らいてう，山田孝野次郎，斎藤隆夫，マッカーサー，山中伸弥 <p>【事例】（187 ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 囲み資料 ○ 肖像（生没年），写真（野口が使ったけんび鏡） ○ 国際社会でかつやくする科学者 野口英世（文章） <p>野口英世は、北里のもとで研究を重ねたあと、アメリカにわたり、へび毒などの研究で大きな成果をあげました。その後、ガーナなどで黄熱病という伝染病の研究に取り組みましたが、自分自身が黄熱病にかかってなくなりました。アメリカにある野口の墓には、その業績をたたえて、「人類のために生き、人類のためになくなった。」ときざまれています。</p>

【社会】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	③興味・関心を高めるための工夫
方 法	○導入の工夫及び興味・関心を高める問いの例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【導入の工夫】(第5学年)</p> <p>○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真やイラストで給食のメニューを提示するとともにキャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。</p> <p>【興味・関心を高める問いの例】(第5学年)</p> <p>○ 「わたしたちの生活と食料生産」の導入のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域の給食の写真や、給食の献立、給食で使われている材料をイラストで掲載している。 ・分かったことや疑問に思ったことを4人のキャラクターによる話し言葉で掲載している。 「全国には、その地域の名産品を使った、おいしそうな給食がたくさんあるね。」 「給食の材料は、どこでどのようにつくられて、運ばれているのだろう。」 ・下段に単元の学習のめあてを掲載している。 「わたしたちの食べているものは、どこでどのようにつくられ、運ばれてきているのでしょうか。」
教出	<p>【導入の工夫】(第5学年)</p> <p>○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真や地図などで学習活動を提示するとともにキャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。</p> <p>【興味・関心を高める問いの例】(第5学年)</p> <p>○ 「未来を支える食料生産」の導入のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜や果物の生産の様子の写真、日本の主な食料の産地をイラストで示した地図、産地が明記された広告や食料の写真、国民一人当たりの主な食料の消費量(1年間)の変化をイラストで表したものを、朝食の写真を掲載している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載している。 「乳牛の生産は、北側の地域に多いね。すずしい気候が向いているからかな。」 「でも米を食べる量は、昔より少ないようだね。生産する場所も減ってきているのかな。」 ・下段に「次につなげよう」を掲載している。 「自分たちがよく食べている米はどこでつくられているか、くわしく調べてみよう。」
日文	<p>【導入の工夫】(第5学年)</p> <p>○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真で給食の調理の様子、児童が食べている様子を提示するとともにキャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。</p> <p>【興味・関心を高める問いの例】(第5学年)</p> <p>○ 「わたしたちの食生活を支える食料生産」の導入のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習ノートの例をイラストで掲載している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターの話し言葉で掲載している。「ご

日文	<p>はん, 牛乳, とり肉, にんじん, ピーマン, りんごなど, いろいろな食材が使われているよ。」</p> <p>「牛肉やぶた肉だと, 外国産もよく見かけるよ。どんな国から来ているのだろう。」</p> <ul style="list-style-type: none">・上段に学び方・調べ方コーナーを掲載している。 <p>「表現する」 ノートの書き方</p> <ul style="list-style-type: none">・下段に「キーワード」を掲載している。 <p>「農作物, 水産物, 畜産物」の用語の説明を掲載している。</p>
----	--

【社会】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	③興味・関心を高めるための工夫
方 法	○呉市や広島県に関する記述

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○ 第5学年</p> <p>〈上〉</p> <p>「わたしたちの国土」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「日本の主な地形」：江の川が明記（19ページ） <p>「わたしたちの生活と食料生産」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「魚が運ばれる道」：広島県が明記（101ページ） <p>〈下〉</p> <p>「わたしたちの生活と工業生産」</p> <p>※岩国大竹コンビナートを取り上げている。（29～31ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「日本各地でつくられた工業製品」：広島県呉市の造船（5ページ） ・資料「日本の工業生産の分布」：瀬戸内工業地域の中に広島県が明記（7ページ） <p>「情報化した社会と産業の発展」</p> <p>※広島市の中国新聞を取り上げている。（70～73ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「号外」：中国新聞（70ページ） ・資料「地域に関する報道」：中国新聞（71ページ） ・資料「支局につとめる山田さんの話」：中国新聞（71ページ） ・資料「平和に関するさまざまな情報を発信しているインターネットのページ」（72ページ） ・資料「ひろしまフラワーフェスティバル」（72ページ） ・資料「8月6日の平和記念式典の様子を伝える記事」：中国新聞（72ページ） ・資料「広島市にある新聞社の佐藤さんの話」（72ページ） ・資料「子ども向け新聞の紙面」：チューピー子ども新聞（73ページ） <p>「わたしたちの生活と環境」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「耐震工事」：広島県福山市（105ページ） ・資料「平成26年8月豪雨での土砂災害」：広島県広島市（108ページ） <p>○ 第6学年</p> <p>〈政治・国際編〉</p> <p>「わたしたちの生活と政治」</p> <p>※発展学習に平和学習を取り上げている。（22～23ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「平和の誓いを読み上げる代表者の二人」（22ページ） ・資料「平和記念資料館の見学」（22ページ） ・資料「8月5日に行われる碑前祭」（22ページ） ・資料「青空教室」（22ページ） ・資料「碑の建立をよびかける募金活動」（22ページ） ・資料「原爆の子の像とそこに刻まれている言葉」（22ページ） ・資料「原爆ドーム」（23ページ） <p>〈歴史編〉</p> <p>「日本の歴史」</p>

東書	<p>※世界文化遺産の原爆ドームを取り上げている。(128～129 ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「復元された遣唐使船」：広島県呉市 (33 ページ) ・資料「厳島神社」：広島県廿日市市 (47 ページ) ・資料「田植えの様子」：広島県 (60 ページ) ・資料「各地のおもな藩校」：広島修道館 (99 ページ) ・資料「原子爆弾が投下される前の広島のみちの絵はがき」(128 ページ) ・資料「現在の原爆ドーム」(128 ページ) ・資料「原子爆弾投下後の広島のみち」(128 ページ) ・資料「広島市の平和記念式典」(129 ページ) ・資料「平和記念資料館の館長さんの話」(129 ページ) ・学習のまとめの観点の一つとして「広島・長崎」を例示している。(140 ページ) <p>「日本の世界文化遺産」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厳島神社 (159 ページ) ・原爆ドーム (159 ページ)
教出	<p>○ 第5学年</p> <p>「日本の国土とわたしたちの暮らし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の主な地形：江の川が明記 (20 ページ) <p>「未来を支える食料生産」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「養殖業がさかんな地域と、水産資源を守り育てるための研究所」：広島湾のかきが明記 (96 ページ) <p>「未来をつくり出す工業生産」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「工業地帯・工業地域別の工業生産額」：瀬戸内工業地域の中に広島県が明記 (154 ページ) <p>「国土の自然とともに生きる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「大雨による土砂くずれ」：広島県広島市 (204 ページ) ・資料「2015年に完成した砂防ダム」：広島県広島市 (212 ページ) <p>「日本にある世界遺産」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原爆ドーム (240 ページ) ・厳島神社 (240 ページ) <p>「日本の食料生産をふり返ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖かき：広島湾 (246 ページ) <p>○ 第6学年</p> <p>「ともに生きる暮らしと政治」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「広島市の平和記念式典」(20 ページ) ・資料「厳島神社」：広島県 (108 ページ) ・資料「原子爆弾の被害を受けた広島」(213 ページ) ・資料「原子爆弾が投下される前の広島」(213 ページ) <p>「世界の中の日本」</p> <p>※平和記念式典や平和への誓いを取り上げている。(269 ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「代表して平和への誓いを読み上げる小学6年生の二人」(269 ページ)
日文	<p>○ 第5学年</p> <p>「日本の国土と人々の暮らし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「日本の地形」：江の川が明記 (20 ページ)

<p>日文</p>	<p>「わたしたちの食生活を支える食料生産」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「養しよく業のさかんな地域」：広島県の位置にカキが明記（102 ページ） <p>「工業生産とわたしたちの暮らし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「工業のさかんなところと各工業地帯・工業地域の工業生産額」：瀬戸内工業地域の中に広島県が明記（136 ページ） <p>「国土の環境を守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「日本でおきたおもな自然災害」：広島県土砂災害が明記（265 ページ） ・資料「砂防ダム」：広島県広島市 <p>○ 第6 学年</p> <p>「わが国の政治のはたらき」</p> <p>※選択単元として平成 26 年広島豪雨災害を取り上げている。（38～43 ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「警察官の仕事」：広島県福山市（6 ページ） ・資料「平和記念式典のようす」：広島県広島市（18 ページ） ・資料「平和記念式典で平和への誓いを読み上げる小学生」：広島県広島市（18 ページ） ・資料「平成 2 6 年広島豪雨災害の被害のようす」：広島県広島市（38 ページ） ・資料「災害時の気象状況」（38 ページ） ・資料「災害発生時と復旧・復興後の安佐北区」（39 ページ） ・資料「災害対策本部のようす」（40 ページ） ・資料「自衛隊や警察、消防による復旧活動」（40 ページ） ・資料「避難所のようす」（41 ページ） ・資料「広島市社会福祉協議会の田畑さんの話」（41 ページ） <p>「日本のあゆみ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「厳島神社」：広島県廿日市市（100 ページ） ・資料「室町時代のおもな特産物と瀬戸焼の広がり」：草戸千軒遺跡が明記（121 ページ） ・資料「朝鮮通信使に出した料理」：広島県呉市（143 ページ） ・資料「空襲を受けたおもな都市とその被害」：広島市と呉市が明記（206 ページ） ・資料「広島に落とされた原爆」（208 ページ） ・資料「敗戦直後の広島原爆ドーム」（208 ページ）
-----------	--

【社会】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫
方 法	○学び方のポイント, 学び方の具体例及び体験的な学習を実施するための工夫

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【学び方のポイント】(第4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちの県」の単元の始め(18・19ページ)に, 見開きで「学習の進め方」のページを設け, 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の進め方を示している。 ○ 課題把握, 課題追究, 課題解決の学習過程については, 「つかむ」「学習問題」を示し, 課題を把握させ, 見開きページごとに問いを提示しながら「調べる」学習を進めている。学習問題について分かったことを整理し, 「まとめる」ページを設けている。単元によっては, 学習したことを次の学習や生活に結びつけるための「いかす」「ひろげる」というページを設けている。 <p>【学び方の具体例】(第4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「住みよいくらしをつくる」 <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちが使う水はどこから送られてくるのかを考え, 学習問題をつくる。 ・浄水場, ダム, 森の働き, 水の循環について調べる。 ・学習問題について調べたことを図にまとめる。 ・限りある水を使い続けるために, 自分たちにできることを話し合う。 ・学習をひろげて, 電気や再生可能エネルギー, ガスについて調べる。 <p>【体験的な学習を実施するための工夫】(第4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「残したいもの伝えたいもの」 <p>「いかす」の学習の中で, 伊予万歳の体験の様子と児童がまとめたノートを例示している。</p>
教出	<p>【学び方のポイント】(第4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に, 見開きで「社会科の学習の進め方」のページを設け, 「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という学習の進め方を示している。 ○ 課題把握, 課題追究, 課題解決の学習過程については, 単元ごとに「みんなでつくった学習問題」を示し, 見開きページごとに「問い」と「次につなげよう」という項目を示して調べる学習を進め, キーワードに注目して学習を振り返る「まとめる」というページを設けている。単元によっては, 単元末に次の学習やくらしに「つなげる」, 学習を「ひろげる」というページを設けている。 <p>【学び方の具体例】(第4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「健康なくらしとまちづくり」 <ul style="list-style-type: none"> ・くらしの中で使う水について知りたいことや疑問に思ったことを話し合い, 学習問題をつくる。 ・浄水場, ダム, 森林の働き, 水道管, 下水処理せつについて調べる。 ・調べてわかったことを話し合い, 学習問題について自分の考えを書く。 ・書いた表で話し合い, 学習問題について自分の考えをノートに書く。 ・節水に取り組み, 取組を続けるためにできることを話し合う。 <p>【体験的な学習を実施するための工夫】(第4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域で受けつがれてきたもの」 <p>「調べる」の学習の中で, 阿波人形浄瑠璃の資料館を訪ねた児童が芝居を見たり人形使いの体験をしたりする写真と, 児童の感想を提示している。</p>

<p>日文</p>	<p>【学び方のポイント】(第4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、「この教科書の使い方」のページを見開きで設け、「わたし(たち)の問題」「学習活動」「友だちの発言」「学習内容」「学習問題」「学習の計画」という言葉で、学習の進め方を示している。 ○ 課題把握、課題追究、課題解決の学習過程については、単元ごとに「学習問題」を示し、見開きページごとに「問い」を提示して調べる学習を進め、これまで調べたこと、学習したことをもとに、学習問題について話し合う活動を設定している。単元によっては、単元末にもっと詳しく調べてみたいことを取り上げる「わたしたちの学びを生かそう」というページを設けている。 <p>【学び方の具体例】(第4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「くらしをささえる水」 <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちが使う水は、どこから、どのように送られてくるのかを考え、学習問題をつくる。 ・浄水場、ダム、森の働き、水の循環について調べる。 ・学習問題について調べたことをカードやノートにまとめる。 ・限られた水を大切に使うために、できることを話し合う。 ・学習をひろげて、下水のしよりと再利用、電気や再生可能エネルギー、ガスについて調べる。 <p>【体験的な学習を実施するための工夫】(第4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちのまちに伝わる祭り」 <ul style="list-style-type: none"> ・くunchiを体験した児童の写真と小学校での取組の説明を提示している。
-----------	---

【社会】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑤単元や資料等の配列, 分量
方 法	○単元の構成と分量, 補充的・発展的教材の分量, 地域事例の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【単元の構成と分量】(第5学年) 計 256 ページ 上巻 116 ページ (国土 58 ページ, 食糧生産 58 ページ) 下巻 138 ページ (工業 54 ページ, 情報 42 ページ, 環境 42 ページ)</p> <p>【補充的・発展的教材の分量】 上巻 10 ページ (40~41 ページ, 64~65 ページ, 94~95 ページ, 110~113 ページ) 下巻 26 ページ (24~35 ページ, 70~73 ページ, 84~89 ページ, 134~137 ページ)</p> <p>【地域事例の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国土 低地: 岐阜県海津市 高地: 群馬県嬭恋村 山地: 長野県飯田市 暖地: 沖縄県 寒地: 北海道札幌市 雪国: 秋田県横手市 ○ 食料 米づくり: 山形県庄内平野 新しい米づくり: 福井県福井平野 水産業: 長崎県長崎漁港 レタス: 茨城県坂東市 果物: 福島盆地 肉牛: 鹿児島県曾於市 ○ 工業 自動車: 愛知県豊田市 造船: 長崎県長崎市 製鉄: 岡山県倉敷市 石油: 山口県和木町 食料品: 静岡県焼津市 眼鏡: 福井県鯖江市 部品: 東京都大田区 ○ 情報 新聞社: 広島県広島市 運輸: 兵庫県姫路市 観光: 兵庫県城崎温泉 福祉: 和歌山県広川町 ○ 環境 天然林: 白神山地 人工林: 秋田県大館市, 北秋田市 公害: 京都府京都市, 熊本県水俣市
教出	<p>【単元の構成と分量】(第5学年) 242 ページ (国土 54 ページ, 食糧生産 62 ページ, 工業 52 ページ, 情報 32 ページ, 環境 42 ページ)</p> <p>【補充的・発展的教材の分量】 11 ページ (56~57 ページ, 100~101 ページ, 116~117 ページ, 168~169 ページ, 201 ページ, 240~241 ページ)</p> <p>【地域事例の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国土 暖地: 沖縄県 高地: 長野県南牧村 寒地: 北海道 低地: 千葉県香取市 アイヌ: 北海道 ○ 食料 米づくり: 新潟県南魚沼市 水産業: 北海道根室市, 鹿児島県長島町 植樹祭: 岩手県一関市, 宮城県気仙沼市 野菜: 徳島県藍住町 キャベツ: 岩手県岩手町 果物: 山梨県甲州市 肉牛: 熊本県阿蘇地方 伝統野菜: 大阪府 郷土料理: 兵庫県明石市 ○ 工業 自動車: 福岡県苅田町 部品: 東京都大田区, 大阪府東大阪市 南部鉄器: 岩手県

【社会】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑥現代的な諸課題の扱い
方 法	○自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い（第4学年）

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【地震（18ページ）、発展：風水害（2ページ）火山災害（2ページ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 静岡県内の自然災害，地震によって起こる被害を調べている。 ○ 地震に備えた家庭や学校の取組を調べている。 ○ 市役所職員の話から，地震に備えた市の取組を調べている。 ○ 避難行動計画やハザードマップを取り上げ，市や住民の取組を調べている。 ○ 自主防災隊を取り上げ，住民同士の取組を調べている。 ○ 地震からくらしを守る取組をカードにまとめている。 ○ 地震が起きて学校が避難所になった場合，自分はどうするか考えている。
教出	<p>【地震（16ページ）、選択：水害（12ページ）火山災害（2ページ）雪害（2ページ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の自然災害による被害を調べている。 ○ 地震や津波に対する備えを調べている。 ○ 市役所職員の話を取り上げ，災害に備える市の取組を調べている。 ○ 市役所職員の話やハザードマップを取り上げ，市の情報伝達の取組を調べている。 ○ 避難地や津波避難タワーを取り上げ，災害に備えた施設や設備を調べている。 ○ 静岡県内の地震や津波の歴史を調べている。 ○ 地震に備えた地域住民の取組を調べている。 ○ 夜の避難訓練など，より安全に身を守るための取組を調べている。 ○ 地震や津波に備えた取組を表にまとめ，これからの生活に生かすために標語を作っている。
日文	<p>【水害（16ページ）、選択：地震（4ページ）津波（6ページ）火山災害（2ページ）雪害（2ページ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京都の自然災害，水害及び水害の被害を調べている。 ○ 東京都で起こった水害の原因を調べている。 ○ 地下調節池を取り上げ，水害を防ぐ施設を調べている。 ○ 森林組合からの手紙を取り上げ，森林と水害の関係を調べている。 ○ メール配信サービスやハザードマップを取り上げ，災害に対して役立つ情報を調べている。 ○ 地域の防災部長の話を取り上げ，災害に備える活動を調べている。 ○ 災害に備えて，自分たちにできることを考えている。

【社会】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	㊦現代的な諸課題の扱い
方 法	○国土の自然災害に関する内容の扱い（第5学年）

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【自然災害（12ページ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の自然災害とその種類を調べている。 ○ 地震が発生しやすい箇所と地震災害への備えを調べている。 ○ 津波が発生する仕組みと津波災害に備えた取組を調べている。 ○ 風水害、火山噴火や大雪による災害から被害を減らす取組を調べている。 ○ 自然災害と国土とのかかわりや防災の取組をノートにまとめている。
教出	<p>【自然災害（12ページ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国で起こった自然災害の種類と発生場所を調べている。 ○ 国土交通省の人の話や宮古市田老地区の取組を取り上げ、大津波から暮らしを守るための対策を調べている。 ○ 大地震の仕組みと大地震から暮らしを守るための国や県の対策を調べている。 ○ 風水害や雪害、火山災害から暮らしを守るための国や県の対策を調べている。 ○ 自然災害の発生とその対策について表にまとめ、自然災害との向き合い方を考えている。
日文	<p>【自然災害（14ページ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の自然災害とその種類を調べている。 ○ 自然災害が発生する原因を調べている。 ○ 東日本大震災を取り上げ、被害の様子を調べている。 ○ 東日本大震災を取り上げ、産業に与える影響を調べている。 ○ 自然災害の被害を防ぐための国や都道府県、市町村による取組を調べている。 ○ 自然災害から命を守るために自分たちにできることや、どのような備えが必要なのか話し合っている。

【社会】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑦本文記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方 法	○本文記述と適切な関連付けがされたイラスト, 写真, 地図, グラフ等の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(第5学年)</p> <p>○ 単元「わたしたちの生活と食糧生産」の「日本の食料生産をめぐる課題」(上114ページ~115ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文に「日本と主な国の食料自給率について、資料をもとに調べてみました。」と記述されている後に、児童のことばとして「どうして日本の食料自給率は低いのだろう。」「40年前と比べると、食料自給率は3分の2になっています。」と記述があり、それに関わってグラフ「日本と主な国の食料自給率」が示されている。 ・児童のことば「価格とも関係があるのかな」に関わって、グラフ「日本産の価格と外国産の価格」が示されている。 ・児童のことば「日本の食料は、多くを輸入にたよっているんだね。」に関わって、グラフ「主な食料の自給率」が示されている。さらに写真「スーパーマーケットで売られる外国産の食品」が示されている。
教出	<p>(第5学年)</p> <p>○ 単元「未来を支える食料生産」の「外国からもとどく食料」(108ページ~109ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文に「交通の発達や冷凍技術の進歩によって、外国からでも新鮮なまま食料を早く運べるようになり、食料の輸入は増えてきました。それとともに国内での食料の生産量や食料自給率も変化してきています。」と記述されている。それに関わって、グラフ「主な食料生産量の変化」、グラフ「主な食料の自給率の変化」が示されている。 ・本文に「どれほどの食料が、外国から輸入されているのでしょうか。」と記述されている。それに関わって、写真「天ぷらそば」「すし」とその原料の輸入割合の円グラフ「さまざまな食料の輸入の割合」、地図「日本が輸入している主な相手先」が関連付けて示されている。
日文	<p>(第5学年)</p> <p>○ 単元「わたしたちの食生活を支える食料生産」の「食料自給率の低下」(116ページ~117ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童のことばとして「①のグラフを見ると、おもな食料のうち、米以外は国内であまりたりていないことがわかるね。」と記述があり、それに関わってグラフ「日本のおもな食料の自給率のうつり変わり」が示されている。 ・本文に「みんなで食料の輸入が増えたわけを②のグラフなどから予想することになりました。」という記述の後、グラフから読み取った児童の気づきがいくつか示されている。それに関わって、グラフ「1人1日あたりのおもな食料の消費量の変化」がイラストを結び付けて示されている。また、グラフ「国産と外国産の農産物のねだん」、写真「広大な農地(アメリカ)」と図「主な国の農林業などの従事者1人あたりの耕地面積」、グラフ「大阪中央卸売市場に入荷するかぼちゃの月別の国産と外国産の量のわりあい」が示されている。

【社会】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑧調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
方 法	○新聞, 地図, 年表, レポートなどでのまとめ方の種類及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【新聞, 地図, 年表, レポートなどでのまとめ例】(第3・4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵地図, 白地図, しょうかい地図, メモ, せんでんシール, ノート, 見学カード, しつもんカード, かべ新聞, ていあん文, 関係図, 仕事さがしメモ, 表, 標語, 年表, たんざく, ポスター (第3学年) ○ 白地図, 産業マップ, 図, カード, 年表, ポスター, 表彰状, 4コマCM (第4学年) <p>【具体例】(第3学年)</p> <p>はたらく人とわたしたちの暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農家の仕事 <ul style="list-style-type: none"> ・せんでんシール (作物をせんでんするシールの案を考えました。) ・ていあん文 (これまで学習したことをもとに, 市ではたらく人の仕事についてていあん文を書きました。) ○ 工場の仕事 <ul style="list-style-type: none"> ・せんでんシール (おかしをせんでんするシールの案を考えました。) ・ていあん文 (これまで学習したことをもとに, 市ではたらく人の仕事についてていあん文を書きました。) ○ 店ではたらく人 <ul style="list-style-type: none"> ・かべ新聞 (スーパーマーケットではたらく人のくふうについてかべ新聞にまとめました。) ・ていあん文 (これまで学習したことをもとに, 市ではたらく人の仕事についてていあん文を書きました。)
教出	<p>【新聞, 地図, 年表, レポートなどでのまとめ例】(第3・4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵地図, 表, 白地図, ポスター, 買い物調べカード, 買い物地図, グラフ, かんけい図, メモ, ノート, 作物カレンダー, ちらし, 標語, 安全マップ, 道具調べカード, 年表, 絵カード (第3学年) ○ 地図, 表, 図, ノート, カード, 標語, 関係図, すごろく, ガイドマップ (第4学年) <p>【具体例】(第3学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ はたらく人とわたしたちの暮らし <ul style="list-style-type: none"> ・ちらし (まちではたらく人の仕事の学習をふり返り, 調べたことをつたえるために, ちらしをつくりました。) ○ 店ではたらく人と仕事 <ul style="list-style-type: none"> ・かんけい図 (お客さんのねがいと店のくふうをかんけい図にまとめました。) ○ 工場ではたらく人と仕事 <ul style="list-style-type: none"> ・ノート (工場の仕事とわたしたちとのつながりについて, ノートにまとめました。) ○ 農家の仕事 <ul style="list-style-type: none"> ・ノート (農家の仕事とわたしたちとのつながりについて, ノートにまとめました。)

<p>日文</p>	<p>【新聞、地図、年表、レポートなどでのまとめ例】(第3・4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発見カード、白地図、ガイドマップ、表、産地マップ、キャッチコピー、きけんカード、見学カード、校しゃの地図、ノート、安全マップ、年表、カード、表(第3学年) ○ PR紙、ノート、カード、標語、すごろく、カルタ、人物カード、図、年表(第4学年) <p>【具体例】(第3学年)</p> <p>わたしたちの暮らしとまちではたらく人びと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 工場ではたらく人びとの仕事 <ul style="list-style-type: none"> ・ノート(調べたことをふりかえり、自分の考えをまとめ、話し合いました。) ○ 畑ではたらく人びとの仕事 <ul style="list-style-type: none"> ・ノート(調べたことをふりかえり、自分の考えをまとめ、話し合いました。) ○ 店ではたらく人びとの仕事 <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチコピー(いちばん心に残っていることをもとにして、スーパーマーケットのキャッチコピーをつくりました。)
-----------	--

【社会】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑨観察・調査や資料活用を通して収集した情報をもとに、お互いに考えを深めていくための工夫
方 法	○収集した情報をもとに、単元末における話し合いや説明の活動を促す工夫とその具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【単元末における話し合いや説明の活動を促す工夫】</p> <p>○ 単元末の「まとめる」の場面や単元後の「いかす」の場面において、「説明しよう」「話し合おう」「発表しよう」などと提示し、学習した内容を活用し、社会的事象について説明や話し合いの活動を設けている。</p> <p>【具体例】(第3学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことをもとに、市の特色や良さについて話し合う。(30 ページ) ・市の紹介地図をつくり、説明する。(30 ページ) ・「こんなときどうする」カードをもとに、地図を使いながら自分の考えを伝えあう。(32 ページ) ・くだものやおかしの「せんでんシール」の案を考え、どうしてその題名にしたのか、理由を説明する。(50～51 ページ, 64～65 ページ) ・かべ新聞をつくるために、スーパーマーケットで働く人の工夫について、調べたことを話し合う。(86～87 ページ) ・市で働く人の仕事について提案文を書くために、これまで学習してきたことを振り返り、考えたことを話し合う。(90～91 ページ) ・火事からくらしを守る人々のはたらきに関する関係図をつくり、それをもとに「火事をふせぐためには、どうしたらよいか」をテーマに話し合う。(106～107 ページ) ・安全を守る人の活動をまとめる表をもとにして、「事故や事件をへらすためには、どうしたらよいか」をテーマに話し合う。(118～119 ページ) ・わたしたちのくらしを守っていけるようにするための標語をつくり、発表する。(121 ページ) ・市のうつりかわりを年表にまとめ、年表を見てわかったことや考えたことを話し合う。(138～139 ページ) ・「みらいの〇〇市」のポスターを作るために、学習してきたことを振り返りながら、市がこれからどのようにしてほしいか話し合う。(141 ページ) ・くらしの道具に関して調べたことを、電子黒板を使って発表する。(147 ページ)
教出	<p>【単元末における話し合いや説明の活動を促す工夫】</p> <p>○ 単元末の「まとめる」の場面や単元後の「つなげる」場面において、「説明しよう」「話し合おう」と提示し、学習した内容を活用し、社会的事象について説明や話し合いの活動を設けている。</p> <p>【具体例】(第3学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町探検したコースの絵地図をつなげて、学習問題の答えについて話し合う。(16～17 ページ) ・白地図を使ったポスターをつくり、できあがったポスターを見ながら、町の様

<p>教出</p>	<p>子について話し合う。(38～39 ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 客の願いと店の工夫を関係図にまとめ、説明する。(60～61 ページ) ・ これまで学習してきたことを振り返り、ノートにまとめ、発表し合う。(89 ページ) ・ まちではたらく人々の仕事の学習を振り返り、調べたことを伝えるためにチラシをつくり、発表し合う。(90～91 ページ) ・ 消防の取り組みの中から自分が一番大切だと思うことを標語にまとめ、発表する。(109 ページ) ・ 火事から自分やまちを守るために大切なことを、下級生や家の人、地域の人たちに伝えるために、みんなで話し合う。(110～111 ページ) ・ 地域の安全マップをつくり、自分の身の安全やまちの安全のためにできることを話し合う。(125 ページ) ・ 道具とくらしのうつりかわりに関する年表をつくり、道具やくらしの他に、時代とともにかわってきたことはないか話し合う。(138～139 ページ) ・ これから市はどのようにかわっていくのがよいのかについて、作成した年表をもとに話し合う。(154～155 ページ)
<p>日文</p>	<p>【単元末における話し合いや説明の活動を促す工夫】</p> <p>○ 単元末や単元後の「わたしたちの学びを生かそう」場面において、学習したことをまとめたノートの例や児童が話し合っている様子をイラストで示し、学習した内容を活用し、社会的事象について話し合いの活動を設けている。</p> <p>【具体例】(第3学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習してきた市の様子をガイドマップにまとめ、それをもとにして学習問題について話し合い、発表する。(38～39 ページ) ・ かまぼこ作りの仕事について調べたことを振り返り、学習問題について自分の考えをまとめ、話し合う。(55 ページ) ・ れんこん作りの仕事について調べたことを振り返り、学習問題について自分の考えをまとめ、話し合う。(65 ページ) ・ スーパーマーケットのキャッチコピーをつくり、発表する。(86 ページ) ・ スーパーマーケットで働く人の仕事を振り返り、学習問題について考えたことをホワイトボードに整理しながら話し合う。(87 ページ) ・ 消防所や警察署の人の仕事、地域の人々の活動を振り返り、学習問題について話し合い、自分たちはどのようにしてくらしの安全や命を守ればよいのかについて、さらに話し合う。(115 ページ) ・ 学校の周りの安全マップをつくり、他学年や地域の人をよんで発表会をする。(118～121 ページ) ・ 市のできごとと人々のくらしを年表にまとめ、それを見ながら学習問題について話し合う。(146～149 ページ) ・ これからの市について調べたことを振り返り、「さらに考えたい問題」について話し合う。(152～153 ページ)

令和元年 7 月 30 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 地図

代表者 呉市立安浦小学校

氏名 山崎 義之

呉市教科用図書調査・研究報告書について (報告)

このことについては、別添のとおりです。

【地図】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①単元や活動の取扱い・説明の仕方の工夫
方 法	○地図の見方の記載例

発行者	調査・研究内容
東書	○ 読図に関しては、『地図帳の使い方』で、地図記号、索引、方位、縮尺について説明するとともに、具体的な活用の仕方を例示している。(P13・14)
帝国	○ 読図に関しては、『地図って何だろう』と『地図のやくそく(1)(2)(3)』で方位、地図記号、距離と縮尺について説明し、その後、『地図帳の使い方(1)(2)』で地図記号、土地の高さの表し方、索引、縮尺について説明するとともに、具体的な活用の仕方を例示している。(P7～18)

【地図】

視 点	基礎・基本の定着
視 点	②国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能及び我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	○国際理解及び国土の地理的環境や歴史的事象に関する学習への活用に向けた記載の例

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末の『世界の国々』で世界の国々の国旗を、巻頭の『地図のぼうげんに出発！ WORLD MAP』や世界の各地方図では、物産や建物・地域の特色を示すイラストや写真等を掲載している。 ○ 『日本とそのまわり』で、日本の国土と近隣諸国等の地理的環境を表記している。また、東西南北の端の島（択捉島、与那国島、南鳥島、沖ノ鳥島）の位置を示すとともに、同じ見開きページに写真入りで紹介している。さらに、尖閣諸島、竹島については、写真を掲載しているページへの案内を掲載している。（P15・16） ○ 地方図の中に主要都市の拡大図を掲載している。 ○ 『日本の歴史—世界とのかかわり①②』で、年表、地図、イラストを用いて、各時代における国名や、日本と他国の関わりについて示し、年表とともに主な出来事について各地方図中の頁数も掲載している。（P75～78） ○ 『日本の歴史と文化—日本の世界遺産—』の「むかしの国」で、明治元年当時の国名と昔の名前がついた特産物、歴史的名所や各地の祭り等の位置をイラストで示し、加えて、世界文化遺産や世界自然遺産の写真を掲載し、地図にその位置を掲載している。（P79・80） ○ 各地方図には、歴史的事象・建造物等を地図上に青地に白抜き文字で掲載している。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の『世界発見！』で民族衣装・あいさつの言葉、巻末の『世界の国々』で世界の国々の国旗を、世界の各地方図で、地域の国旗や特色を表すイラストや子供たちの様子の写真等を掲載している。 ○ 『日本の領土とそのまわり』で、日本の国土と近隣諸国等の地理的環境を表記している。また、東西南北の端の島（択捉島、与那国島、南鳥島、沖ノ鳥島）の位置を示すとともに、同じ見開きページに写真入りで紹介している。さらに、北方領土、竹島、尖閣諸島についても、同じ見開きページに写真入りで紹介している。（P29・30） ○ 各地方図の中に主要都市の拡大図を掲載している。 ○ 『日本の歴史と世界文化遺産』で明治元年当時の国名、昔の国の名前がついた特産物、世界文化遺産の写真を掲載し、地図にその位置を掲載している。また、「1日本の歴史のおもなできごと」で、年表とともに主なできごとについて各地方図中の頁数も掲載している。（P101・102） ○ 各地方図には、歴史的事象・建造物等を地図上に青地に白抜き文字で掲載している。 ○ 「広く見わたす地図」を掲載し、地理的環境を示している。（P19～28）

【地図】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	③興味・関心を高める工夫
方 法	○興味・関心を高めるための記載例

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、地図その土地の様子等を紹介している。 ○ 巻頭の『地図のぼうけんに出発 WORLD MAP』『発見!わたしたちの日本! JAPAN MAP』で世界や日本の様々な事物をイラストで紹介している。 ○ 地図学習の導入として、『まちを上からながめてみよう』『真上から見ると地図になるよ』『市を見わたしてみよう』でイラストマップや地図を用いて地図の仕組みを紹介している。(P7~12) ○ 『くらべてみよう日本と世界』で、世界各地の有名な山、川、建造物等をイラストで紹介している。(P81・82) ○ 『近畿地方図』に「金閣」「銀閣」「東大寺の大仏」の写真を、中部地方図に「自動車工場と関連工場の分布」を掲載するなど、地域の特徴的な内容を紹介している。(P35・36) ○ 『日本の歴史と文化ー日本の世界遺産ー』で、昔の国名がついている食べ物や祭りなどをイラストで、世界文化遺産を写真で紹介している。(P79~80) ○ 『世界のおもな国の統計』で、オリンピックとワールドカップの開催国を地図上に色分けして示している。(P85・86) ○ 『世界の地方図』の中には、料理や動物など、特徴的なものを写真で紹介している。(P57~68)
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しや地図マスターで、地図活用のポイントやその土地の様子等を紹介している。 ○ 巻頭の『世界発見!』のイラストマップに、世界各地の名所や食事等のイラストで示すとともに「世界の国からこんにちは!」で、イラストを用いて世界のあいさつを紹介している。 ○ 地図学習の導入として、『地図のやくそく』の中に、イラストマップを用いた「たからさがしにちょうせんしよう」を掲載している。(P9~14) ○ 世界の各地方図の「集まれ!世界の子どもたち」で各地域の特徴的な生活について写真で紹介している。(P75~86) ○ 『日本の歴史と世界文化遺産』で、昔の国名がついている主な産物をイラストで、世界文化遺産を写真で紹介している。(P101・102) ○ 『日本と世界の結びつき』の④オリンピック・パラリンピックでオリンピック・パラリンピックの開催国を地図上に示している。(P99~100)

【地図】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	③興味・関心を高める工夫
方 法	○呉市や広島県に関する記載

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『中国地方』では、原爆ドームと厳島神社が世界遺産のマークがついている。(P27・28) また、『日本の歴史と文化 日本の世界遺産』P79, P80 には原爆ドームと厳島神社の写真を掲載している。(P79・80) ○ 『中国地方』では、産業の記号に 広島市のお好み焼き 油木のコンニャクイモ 三次市のブドウなど各地域の特産品を掲載している。(P27・28) ○ 『四国地方』に呉市の、「呉 音戸 川尻 安浦 下蒲刈島 上蒲刈島 大崎下島 大崎上島 倉橋島 鹿島」地名を掲載しており、川尻の筆とみかんの小さなイラストを掲載している。(P29・30) ○ 『日本の工業の分布』では、広島県の主な工業として自動車を載せている。(P72) ○ 『日本の都道府県の統計』では、おもな伝統工芸品として川尻筆を掲載している。おもな郷土料理・農水産物にレモンと牡蠣を紹介しており、レモンと牡蠣は全国生産量一位として掲載している。(P84) ○ 『日本の自然災害』P97, P98 では、2004年台風18号で被害があったこと、大きな地震の被害が起きたことについて触れている。(P97・98)
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『広く見わたす地図』に広島市および呉市が載っている。広島県の産業が車や牡蠣とレモンのイラストを掲載している。原爆ドームや厳島神社が載っている。(P21) ○ 『中国地方の地図』に、原爆ドームや厳島神社が世界文化遺産として載っている。(P37) ○ 『中国地方の地図』に、広島県の特産品としてレモンや牡蠣、呉市の産業が造船であるとイラストで掲載している。(P37) ○ 瀬戸内海周辺の地図には、「呉 音戸 倉橋島 鹿島 下蒲刈 下蒲刈島 蒲刈 上蒲刈島 豊島 豊浜 大崎上島 川尻 安浦 広 倉橋」、他にも「大和ミュージアム 音戸大橋 早瀬大橋 朝鮮通信使 灰ヶ峰 野呂山」を掲載している。さらに熊野筆や牡蠣・レモンといった特産物がイラストで掲載している。灰ヶ峰 737m 野呂山 839m と記載している。(P41) また、『日本の歴史と世界文化遺産』には原爆ドームと厳島神社の写真を掲載している。(P101) ○ 瀬戸内海周辺の地図②広島市のように原爆による被害状況にもふれている。(P41) ○ 『日本の自然災害と防災』では、平成26年8月豪雨災害・芸予地震についてふれている。(P91) ○ 『日本の産業のようす(2)』で、府中町の自動車、福山の製鉄等が地図記号で記されている。(P97) ○ 『日本の統計』③おもな工業の生産額では、電子部品などの生産額で広島県が第2位になっていることが示されている。(P103・104) ○ 『日本の統計』の主な伝統的工芸品と生産都市では、熊野筆、備後がすりが生産都市と合わせて掲載されている。(P103・104)

【地図】

視 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫
方 法	○作業的・体験的な学習課題の例

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全般にわたってキャラクターの吹き出しで、「中国地方を東西に走る高速道路を指でたどって、どんな都市を通っているか確かめてみよう。」等、学習の見通しをもたせたり、作業的な学習を促したりする言葉を提示している。(P28) ○ 『世界全図と地球儀』の「地球儀を使って調べる」で、紙テープやトレーシングペーパーを使って、方位や国の大きさを調べる方法を大きな写真入りで掲載している。(P55)
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全般にわたって「地図マスターへの道」で、「新幹線で大阪市から福岡市まで行く間に通る府県はどこかな。線路を指でたどりながら、府県の名前を言ってみよう。」等、作業的な学習を促す言葉を提示している。(P. 22) 巻末にある、「地図マスターへの道～まとめのぬりつぶし～」で、問題の振り返りができる欄が設けている。 ○ 『世界と地球儀』の「地球儀を使おう」で、紙テープを使って、方位や距離を調べる方法やトレーシングペーパーで土地の面積や形を調べる方法を、ナンバリングし写真入りで掲載している。(P73) ○ 『日本の自然災害と防災(2)』では、防災マップの例を示しながら防災マップづくりの手順を示し、体験的な学習を例示している。(P94)

【地図】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑤単元や資料等の配列
方 法	○統計資料及び地図の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○ 日本列島全体を見渡す地図(p18~22)に始まり, 日本の地方図と都市圏図(p17~19, 23~54), 世界全図(p55, 56), 世界の各地方図(p57~68), 主題図(p69~82), 統計資料(p83~86), 索引(p87~96)と系統的に配列している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題図(7種:日本の自然・産業・貿易・歴史①・歴史②・歴史と文化,日本と世界の比較) ・統計資料(4ページ:日本・13項目2014~2018年を使用 世界・83か国5項目2015・2016年を使用) ・索引(10ページ:黒字・赤字の2色) <p>○ 各地域を比較できるように, 日本全図は縮尺400万分の1, 各地方図は原則として100万分の1(北海道は160万分の1), 都市圏などの拡大図は50万分の1(5種:福岡県・大阪府・愛知県・東京都・仙台市)と5万分の1(3種:京都・奈良・東京)で統一している。</p> <p>○ 陸の高さや海の深さが, 地図に応じて細かく色分けされており(最大17段階), 土地利用も商業地, 住宅地, 工業地, 田, 畑などを8種類で示している。</p>
帝国	<p>○ 日本列島全体を見渡す地図(p4~6)・日本の地方ごとに広く見渡す地図(p19~28)に始まり, 日本の地方図と都市圏図(p31~72), 世界全図(p73, 74), 世界の各地方図(p75~86), 主題図(p87~102), 統計資料(p103~105), 索引(p106~114)と系統的に配列している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題図(8種:日本の地形・気候・過去の災害事例・災害を防ぐ工夫・農水産業・工業交通・貿易観光・歴史と世界文化遺産) ・統計資料(3ページ:日本・20項目2015~2017年を使用 世界・85か国5項目2016年を使用) ・索引(9ページ:黒字・青字・赤字の3色) <p>○ 各地域を比較できるように, 日本全図は縮尺600万分の1, 広く見渡す地図は160万分の1, 各地方図は原則として100万分の1(北海道は160万分の1), 都市圏などの拡大図は50万分の1(6種:九州北部・瀬戸内海・近畿中部・中部南部・関東南部・仙台市), 30万分の1(愛知県), 20万分の1(2種:京阪神・東京都), 10万分の1(福岡市), 5万分の1(3種:奈良・京都・東京)で統一されている。</p> <p>○ 日本列島や地方図では, 隣接地域の地図が何ページにあるかを記号で示し, 隣の地図とのつながりを示している。</p> <p>○ 陸の高さや海の深さが, 地図に応じて細かく色分けされており(最大13段階), 土地利用も市街地, 工業地, 田, 畑などを8種類で示している。</p>

【地図】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑥学習内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方 法	○資料等の活用方法の記載

発行者	資料等の活用方法の例
東書 (略名)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『地図帳の使い方』で、地図記号、この地図帳での記号、方位の見方、縮尺の見方、土地利用の見方、土地の高さの見方、索引の使い方、広く見る時、詳しく見る時、地方別に見る時の見方について、イラストを使って説明している。(p13p14) ○ 「Dマーク」を掲載し、Webページ上で資料等の活用方法等を紹介している。(p96に説明 9か所) ○ これまでの学習で調べた項目が記録できるように、索引の項目ごとにチェック欄が設けられている。(掲載数：日本の地名 約2200項目、世界の地名 約470項目)(p87～p96) ○ 4人の子供たち、先生とはかせ、冒険船の船長とその相棒、地図の妖精という多彩なキャラクターが随所に登場し、学習の手助けをしている。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『地図のやくそく(1)(2)(3)』『地図帳の使い方(1)(2)』で、地図記号、この地図での記号、方位の見方、縮尺の見方、土地利用の見方、土地の高さの見方、索引の使い方、目的に合わせた見方等について、イラストを使ったりワークシート形式で記入でしたりして説明している。(p9～p18) ○ 二次元コードを掲載し、Webページ上で資料等の活用方法等を紹介している。(p6, 裏表紙に説明 35か所) ○ 「さくいんの見かた」で、地名の種類を表す記号・色、列記号と行記号による場所の探し方を示している。(掲載数：日本の地名 約2100項目、世界の地名 約400項目)(p106～p114) ○ スパロウ先生、2人の子供たちというキャラクターが随所に登場し、学習の手助けをしている。

【地図】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑦観察・調査や各種資料の活用の工夫
方 法	○地図を活用した調べ方の例

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『地図帳の使い方』の「どこにある？（さくいん）」で索引の使い方をまんがで説明し、地名の調べ方を例示している。 ○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、具体的な観察・調査方法を掲載している。 ○ 「資料地図・統計表」で、ページの上段の言葉やキャラクターの吹き出しで調べる視点などを示している。 ○ 索引について 『「さくいん」の見方』として活用の仕方を例示してある。 日本…都道府県名・県庁所在地を赤文字 その他を黒文字 世界…黒文字 国名は二重丸、首都は赤丸
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『地図帳の使い方（2）』で、索引の使い方をキャラクターの吹き出しで説明し、地名の調べ方を例示している。 ○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、具体的な観察・調査方法を掲載している。 ○ 全般にわたって、「地図マスターへの道」で、学び方や調べ方などの簡単な作業を指示し、資料活用の仕方を示している。 ○ 索引について 「さくいんの見かた」として活用の仕方を例示してある。 日本…都道府県名と県庁所在地を赤文字 歴史地名を青文字 世界…国名を赤文字、首都名を青文字 その他の地名を黒文字

【地図】

視 点	言語活動の充実
視 点	⑧調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
方 法	○地図を活用した表現の例

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『日本の自然災害』において、ハザードマップを示し、自分の地域のハザードマップで確認する点について掲載している。(P99) ○ 日本の自然(気候, 地形), 日本の産業(水産業, 農業, 工業), 日本の貿易, 日本の歴史(世界とのかかわり①), 日本の歴史(世界とのかかわり②), 日本の歴史と文化(日本の世界遺産)について主題図(資料地図)で示している。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『日本の自然災害と防災(2)』において、「防災マップづくり」で地図を使ったまとめ方のヒントや手順を示し、地図の作品の例を掲載している。(P94) ○ 日本の自然のようす(1) 地形, 日本の自然のようす(2) 気候, 日本の自然災害と防災(1) 過去の災害事例, 日本の自然災害と防災(2) 災害を防ぐ工夫, 日本の産業のようす(1) 農水産業, 日本の産業のようす(2) 工業・交通, 日本と世界の結びつき, 日本の歴史と世界文化遺産について主題図(資料地図)で示している。